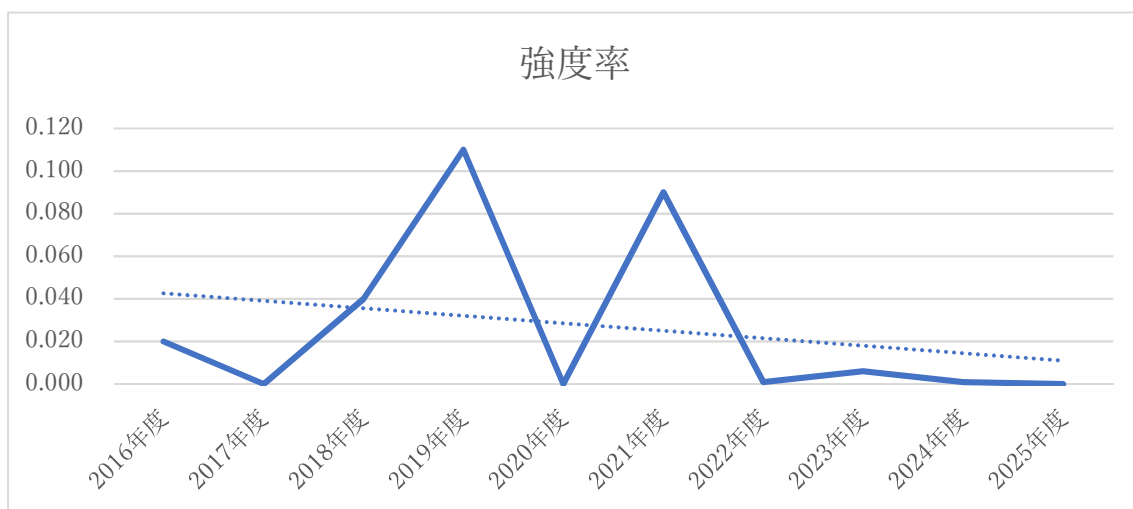
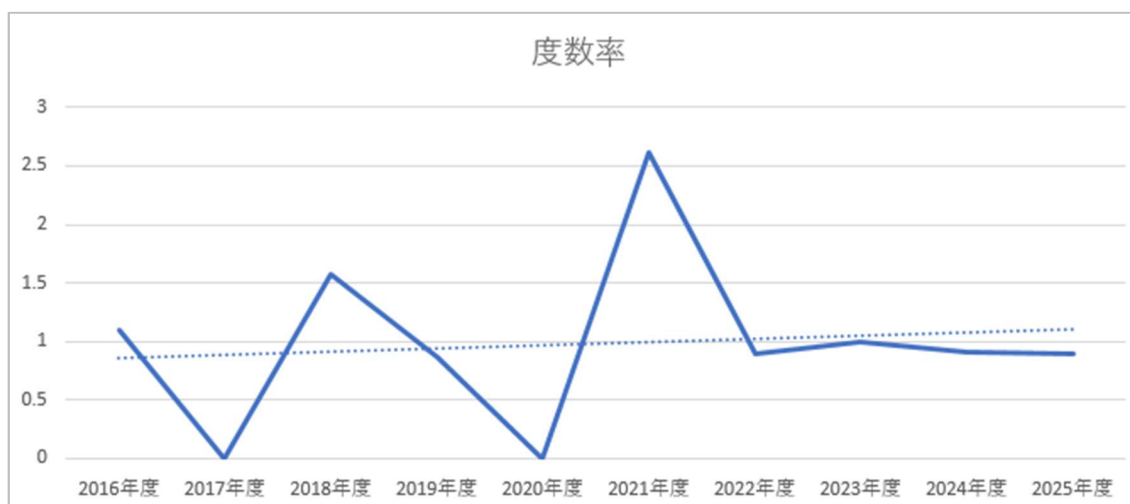


労働災害防止の取り組み結果



労働災害の発生状況については、度数率および強度率のいずれにおいても減少傾向が認められます。これは、リスクアセスメント活動をはじめとする「ゼロ災活動」の継続的な推進による成果であると考えています。

しかしながら、減少傾向は依然として緩やかであることから、2026年度においても引き続き「ゼロ災活動」の実効性向上を図り、特に「転倒災害」に力点を置き、危険要因を早期に把握・除去する先取り活動を推進していきます。



備考 度数率 = 労働災害による死傷者数 ÷ 延実労働時間 × 1,000,000
 強度率 = 延労働損失日数 ÷ 延実労働時間 × 1,000